







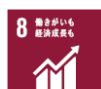









※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(コジマS.I株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(行動規範・基準書の制定、研修の実施)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・研修の実施、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働は正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている(交流会、意見交換会の開催、日本語研修参加など)				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・社員向けの労働安全衛生講習会の実施、KYT教育の実施、無災害労働記録の掲示							3		8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・【予定】メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する							3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・外国人労働者を雇用すると共に、多様な人材の社内チャレンジ制度に伴う格付け基準を整備している。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している(専門技術教育、主任研修、管理監督者研修他)				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を進めている					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】健康経営優良法人認定(経済産業省)を取得予定							3		8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・エコアクション21取得に向けて廃棄物の種類、廃棄量、廃棄物処理業者等の環境管理システムを整備している										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エコアクション21取得に向けて各年度の実績を把握し、環境管理システムを整備している							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定していく								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減するための社内規程を制定している				3.9		6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
																																		
環境	15 【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・ 環境に配慮した材料、加工方法による製品の提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・ 【予定】事業全体における生物多様性への影響を把握し、必要に応じて負の影響を削減するための計画を策定する						6.6																		15					
	16 【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・ 投入資源の効率的な使用、再利用を推進している。海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等を推進している											12.5		14.1																
	17 【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】	・ エコアクション21取得に向けて各年度の実績を把握し、管理システムを整備し利用の効率化を推進している						6.4 6.6																						
	18 【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			【予定】	・ 【予定】エコアクション21を取得する予定												12		13.3		14		15										
	19 【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			【予定】	・ HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行していく予定【エコアクション21】												12.6																
	20 【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				・ グリーン電力の購入・使用に努めている								7.2									13											
	21 【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ				FSC認証製品の優先的な使用に努めている。												12.2		13		14		15										
公正な事業慣行	22 【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・ 汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																									16	16.5			
	23 【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本				・ 不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内研修を実施している																									16			
	24 【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本				・ 自社の特許、商標等は保有していないが、他社への知的財産権の侵害に当たらないよう管理している ・ 【予定】製品開発における特許侵害調査を実施する																												
	25 【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本				・ 「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している ・ 社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している																									16			
	26 【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ				・ 自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																									16			
	27 【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				・ 取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている						5					8				10		12	13	14	15	16	17						
	28 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】	・ 2025年度 作成・公表予定														3									8	9	10			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定